

VST Lead Editor. 1.3.1 Manual

 Windows 98, ME, 2000, XP, Vista

 OS 9, OSX 10.4, OSX 10.5

 Universal Binary

目次

- » はじめに
- » インストール
- » 設定
- » ユーザーインターフェース
- » VST Lead Editor の操作
- » プリセットの操作
- » MIDI コンティニューアスコントローラー (CC) リスト
- » MIDI インプリメンテーション

はじめに

reKon audio™ VST Lead Editor をお買い上げいただきありがとうございます。

VST Lead Editor は Clavia の Nord Lead、Nord Rack のサウンドの全てのパラメーターを完全にコントロールすることができるリアルタイム MIDI シンセ・エディターです。今、あなたは Nord Lead の全ての能力を生かすことができ、長く使えて有意義なパッチを組み立て、Nord Lead についてはあなたの音楽に新しい息吹を吹き込むことでしょう。滑らかでユーザーフレンドリーなインターフェースは、たとえばパッチに分りやすい名前を付けるといったことのように、わずかな時間であなたの Nord Lead の機能を最大限に利用できるようにします。また、マニュアルのダンプ操作に精を出さなくても、VST 上で全てのパッチを管理することができます。お使いの VST ホストで全てのパラメーターは自動的にコントロールでき、ホストシーケンサーで Nord Lead をヴィジュアルにプログラムする能力を与えることができます。

Clavia Nord Lead シンセサイザー

Clavia はスウェーデンのシンセサイザーメーカーで、オリジナル Nord Lead、Lead2、Lead2X、Lead3 など優れたプロフェッショナルなバーチャルアナログ・シンセサイザーを提供しています。各機種はその前出の機種よりさらに機能を発展させていますが、それでもコンパチビリティを保っています。そして、本エディターは reKon audio が VST でお届けする第3のバーチャルアナログ機と言えます。Nord Lead はそのサウンドクオリティによって長く残る名機であると信じます。この素晴らしいシンセに我々のエディターとプリセットを提供できることを誇りに思います。

インストール

reKon audio のソフトウェアは簡単なインストーラ - でインストールされます。インストーラではあなたの使用する VST フォルダを指定でき、また、追加のコンポーネントがインストールされることもあります。

Windows XP, Vista

VST Lead Editor フォルダの EXE ファイルでインストールします。インストール中にインストール先の VST フォルダを指定できます。通常、VST ホストの VST フォルダは HDD C: の 'Program Files/Steinberg/Vst Plugins' でしょう。

Mac OSX

VST Lead Editor の DMG フォルダのインストーラーファイルを使用します。通常、VST ホストの VST フォルダは 'user/Library/Audio/Plug-Ins/VST' でしょう。そこに VST Lead Editor フォルダをコピーします。

注: 当社の全てのプラグインは UB(ユニバーサルバイナリー)コンパチブルです。

設定

VST プラグインを使用するため前提

まず、対象のシンセサイザーの基本的な機能を理解してください。それはそのシンセのマニュアルおよび MIDI の基本を理解することです。この知識なしでは、本エディターの設定や使用方法を理解するのに時間が掛かるでしょう。

ステップ 1: Nord Lead の設定

Nord Lead とパソコンを MIDI ケーブルで接続し、割り当てる MIDI ポートと MIDI チャンネルを確認、設定してください。

ステップ 2: VST ホスト(DAW) のプラグインの設定

設定の方法はホスト(DAW)のソフトウェアによって異なります。各ホストの VST サポートは異なるでしょう。また、VST Instruments からの MIDI データに対するサポートも異なるでしょう。使用できるホストについては、reKon audio のウェブサイト; www.rekonaudio.com で、Supported Hosts のリストを参照してください。そして、VST ホストのマニュアルの VST instrument (VSTi) の設定方法を参照してください。

Cubase SX 1-3 または Cubase 4.1.3+ での設定例

VST Lead Editor を Cubase SX 1-3 または Cubase 4.1.3+ で設定するには:

1. VST Instrument Plugins のフォルダに VST Lead Editor がインストールされていることを確認してください。
2. Cubase SX または Cubase 4.1.3+ を立ち上げてください。
3. New Project を作成してください。
4. VST Instruments パネルを開き、VST スロットで「reKon™ VST Lead Editor」VST を選択してください。
5. MIDIトラックを作成し、その MIDIトラックを選択してください。
6. その MIDIトラックの I/O(In/Out)パネルで、MIDI input に VST Lead Editor に割り当て、MIDI

- output に Nord Lead 本体が接続されている MIDI ポートとチャンネルを割り当ててください。
7. もう1つの MIDIトラックを作成し、そのトラックを選択してください。
 8. その MIDIトラックの I/O(In/Out)パネルで、MIDI input に使用する MIDI キーボードの MIDI ポートとチャンネルを割り当て、MIDI output に Nord Lead 本体が接続されている MIDI ポートとチャンネルを割り当ててください。このトラックが Nord Lead のノート/ピッチ/モジュレーションを演奏し、レコーディングするために使用されます。
 9. 先の両方の MIDI トラックで小さなスピーカーのアイコンをクリックしてアクティブにします。これでそのトラックが選択されていなくても演奏をモニターできるようになります。
 10. MIDI キーボードを弾き、VST Lead Editor のツマミを動かして、演奏してみてください。
- 注1. 他の VST ホストの設定法も似かよったものです。reKon audio のウェブサイト; www.rekonaudio.com の Host Support ページも参照してください。
- 注2. VSTi in Cubase SX 3.1.1+ と Cubase 4 versions 4.0 - 4.1.2 からの MIDI メッセージは欠落があります(SB のバグ)。Steinberg のウェブサイトでバージョンと MIDI サポートに関する詳細を参照してください。

ステップ 3: MIDI IN トラックの設定

エディターへの MIDI 入力の設定

1. 前節の設定を実行しておきます。
注: VST Lead Editor からの出力がフィードバックして MIDI 入力にループしないようにトラックの MIDI 出力をチェックしてオフにしてください。
2. 新たに MIDIトラックを作成し、そのトラックを選択します。
3. その MIDIトラックの I/O(In/Out)パネルで、MIDI input に Nord Lead 本体が接続されている MIDI ポートとチャンネルを割り当て、MIDI output に VST Lead Editor に割り当ててください。
4. Lead でツマミを回してみてください。エディター画面のツマミが回るのを確認してください。

VST エディターに Lead 本体のパッチをロードするには

前節の MIDI 入力の設定が完了すれば、Lead 本体の現在のプログラムをエディターに読み込むことができます。

1. Lead 本体で読み込みたいプログラムを選択します。
2. Nord Lead 本体の SIFT + DUMP ONE ボタンを押して1プログラムのダンプを実行します。
3. エディターはプログラムの全てのパラメーターを読み込んでパッチの値にします。
4. パッチの名前を本体と同じまたは任意に変更します。
5. パッチを.fxp ファイルとして保存するには、VST Instruments パネルの VST Lead Editor スロットで、プリセットとして保存します。

グラフィカル・ユーザーインターフェース

グラフィカル・ユーザーインターフェースの使用

VST Lead Editor のユーザーインターフェースは、スクリーン上で Clavia Nord Lead の全てのパラメーターに簡単にアクセスできるようにデザインされています。また、プリセット名をエディター上で変更することができます。全てのコントロールは、ツマミ、ボタンタイプかコンボボックス、テキストエディットボックスで提供されています。

VST Lead Editor. v. 1.3.1 ユーザーインターフェース



VST Lead Editor の操作

サウンドについて

VST Lead Editor は MIDI データに関してのみ動作する VSTi (synth) プラグインです。従ってそれ自身でサウンドを出力することはありません。すなわちサウンドは Nord Lead が出力し、VST でのコントロールが可能です。VST Lead Editor は VST MIDI Effect プラグインではなく、オーディオ処理をもたない VSTi Instrument です。

コントロールの操作

VST Lead Editor のほとんどのコントロールは本体のツマミやボタンを模して、本体の操作と同じように操作できます。ツマミには2種類あって、ゼロないし最小値が左に回しきった位置にあるものと、回転の中央がゼロポジションであるものがあります。それぞれは、そのコントロールが持つレンジによってタイプが決まります。

コントロールの分解能

ツマミのコントロールで、さらに細かい設定をするには、Shift キーを押しながらツマミを操作します。すなわち、それで値の「ファインアジャスト」が可能です。

コントロールを初期設定に戻す

各コントロールの設定を初期設定にするには、Ctrl(Control) キーを押しながら画面のそのコントロールをクリックします。

MIDI コンティニュアスコントローラー (CC) データの受信

VST Lead Editor は、MIDI コンティニュアスコントローラー (CC) メッセージを受信し、パッチを設定できます。各コントロールが対応する MIDI CC 番号はこの後のリストで示されています。

MIDI LED インジケーター

VST Lead Editor が MIDI データを受信あるいは送信するときには、パネル中央ディスプレイ下の IN/OUT の MIDI LED が点滅します。VST Lead Editor は、MIDI ノートオン/オフ、ピッチベンド、モジュレーション、MIDI CC メッセージに反応します。

CHANNEL (MIDI チャンネルセクター)

パネル中央ディスプレイ下のボックスで VST Lead Editor が送受信する MIDI チャンネルを選択します。

MIDI SEND、RECEIVE ボタン

パネル左のプリセットセクションの SEND、RECEIVE ボタンで、MIDI プログラムチェンジの送/受信をそれぞれオン/オフします。オンにするとプリセットの選択を、VST Lead Editor と Lead 本体間で送/受信できます。

MIDI In ボタン

パネル中央ディスプレイ下の MIDI In ボタンはエディターへの MIDI 入力(受信)をオン/オフします。オンにすると Lead 本体からエディターへの MIDI 受信が許可されます。このボタンは VST ホストの MIDI IN のオン/オフ機能と同様に使用できるでしょう。エディターからの MIDI OUT を使用するとき MIDI IN 信号とループ状態になる場合に、MIDI IN をオフにするのに使用します。

「About」表示

reKon のロゴをクリックすると「About」スクリーンが表示されます。

プリセットの操作

プリセットの選択

パネル画面左のプリセットセクションはプリセット(シンセの世界では「パッチ」とも言います)の選択に使用します。中央の LCD タイプのディスプレイには現在のプリセット名と番号が表示されます。プリセットセクションの矢印ボタンでプリセット番号を上下選択します。MIDI データの送信中はローダーバーがその進行を示し、Lead 本体にパッチをリアルタイムで設定します。

現在のプリセットを変える

矢印上下ボタンでプリセットを変えます。

プリセット名を変更する

プリセット名を変更するにはプリセット表示のディスプレイをクリックし、通常テキスト入力と同様に名前を変更、入力し、Enter キーを押します。プリセット名は 24 文字まで使用できます。

COPY/PASTE ボタン

現在選択中のプリセットをコピーして他のプリセット位置にペーストするには次のようにします。プリセットセクションで、最初にコピー元のプリセットを矢印上下ボタンで選びます。赤い COPY/PASTE ボタンをクリックします。ボタンの色が変わること注目してください。次に、ペースト先のプリセット番号を矢印上下ボタンで選びます。そこで、COPY/PASTE ボタンをクリックしてください(色は元に戻ります)。これでそのプリセットにペーストされました。

プリセットバンクの初期設定

VST Lead Editor が持っているプリセットバンク(プリセットのセット)の初期設定は Clavia の Lead の工場出荷時のプリセットと同じです。もしプリセットを変更した後に初期設定に戻したい場合は、VST Instruments パネルの VST Lead Editor スロットで、fxb のデフォルトバンクファイルをロードします。また、全てがブランクのバンクも用意されています。それをロードすれば全く無音のプリセットから編集ができます。

Sysex メニュー

VST Lead Editor はパッチ及びバンクをシステムエクスクルーシブ(Sysex)ファイルとしてロード/セーブできます。パネル中央の Sysex メニューでパッチ/バンクを選択して、ファイルをセーブまたはロードしてください。Sysex でロードしたら、名前を付けて VST 用の fxb/.fxp でセーブしておく方がよいでしょう。

MIDI コンティニューアスコントローラー (CC) リスト

次のリストの MIDI コンティニューアスコントローラーメッセージが VST Lead Editor のパッチ設定に使用されます。また、全ての Nord モデルで全てが使用されているわけではありません。

Nord Lead の機能	値の範囲	CC #	値の内容
Gain	0-127	7	
Oct Shift	0-4	17	-2, -1, 0, 1, 2
Mod Wheel Destination	0-4	18	Filter, FM Amount, OSC2, LFO1, Morph
Unison	0-1	16	Off, On
Poly/Legato/Mono	0-2	15	Mono, Legato, poly
Portamento Auto	0-1	65	Off, On
Portamento Time	0-127	5	
LFO 1 Rate	1-127	19	
LFO 1 Waveform	0-2	20	square, saw, tri
LFO 1 Destination	0-3	21	osc 1+2, osc 2, filter, pulse width
LFO 1 Amount	0-127	22	
LFO 2/Arpeggio Rate	0-127	23	
LFO 2 Destination / Arpeggio Mode	0-6	24	filter, arp up, arp up+down, amp, osc 1+2,rand arp, echo
LFO 2 Amount / Arpeggio Range	0-127	25	
Modulation Envelope Attack	0-127	26	
Modulation Envelope Decay	0-127	27	
Modulation Envelope Destination	0-2	28	osc2, fm amt, off
Modulation Envelope Amount	0-127	29	
Osc 1 Waveform	0-2	30	square, saw, tri
Osc 2 Waveform	0-3	31	square, saw, tri, noise
Osc 2 Semitones	0-120	78	m60 to 60
Osc 2 Fine Tune	1-127	33	
Oscillator FM Depth	0-127	70	
Osc 2 Keyboard Tracking	0-1	34	
Oscillator Pulse Width	0-127	79	
Oscillator Sync	0-1	35	off, on
Oscillator Mix	0-127	8	osc1 - osc2
Amplifier Envelope Attack	0-127	73	
Amplifier Envelope Decay	0-127	36	
Amplifier Envelope Sustain	0-127	37	
Amplifier Envelope Release	0-127	72	
Filter Envelope Attack	0-127	38	
Filter Envelope Decay	0-127	39	
Filter Envelope Sustain	0-127	40	
Filter Envelope Release	0-127	41	
Filter Mode	0-4	44	LP12dB, LP24dB, HP24dB, BP, Notch+LP
Filter Cutoff	0-127	74	
Filter Resonance	0-127	42	
Filter Envelope Amount	0-127	43	
Filter Velocity	0-1	45	Off, On
Filter Keyboard Track	0-1	46	Off, On

MIDI インプリメンテーション・チャート

VST Lead Editor V.1.3.1

Message	Tx	Rx	Notes
Channel	x	o	1-16
Mode	x	x	Omni mode
Note On/Off	-	o	note numbers 0-127
Velocity	-	o	0-127
Aftertouch	-	o	0-127
Poly Pressure	-	o	0-127
Pitchbend	-	o	0-127
Modulation	-	o	0-127
Continuous Controller	o	o	0-127
Program Change	o	o	0-127
System Common	x	x	
System Realtime	x	x	
System Exclusive	x	x	

x = no

o = yes

注:仕様は断りなく変更されることがあります。

©2008 reKon audio. www.rekonaudio.com